



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 トランス・コスモス株式会社

コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO

(氏名) 本田 仁志

TEL 03-4363-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	38,184	2.9	1,871	70.7	1,907	51.3	1,345	77.3
23年3月期第1四半期	37,108	△1.1	1,095	101.3	1,260	129.0	758	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,676百万円 (61.6%) 23年3月期第1四半期 1,037百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第1四半期	32.70	—
23年3月期第1四半期	18.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第1四半期	92,628	44,707	44.6	1,003.87
23年3月期	90,134	44,410	45.5	997.46

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 41,304百万円 23年3月期 41,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当期の連結業績予想につきましては、東日本大震災に伴う電力供給不足に加え、急激な円高進行などにより、今後の企業活動の動向に与える影響が不透明な状況となっており、現段階では合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	48,794,046 株	23年3月期	48,794,046 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	7,648,854 株	23年3月期	7,648,617 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	41,145,381 株	23年3月期1Q	41,146,529 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により輸出・生産が減少したものの、サプライチェーンの早期回復もあって一部では持ち直しの兆しも見られました。しかしながら、電力供給不足による企業の生産活動の制限や消費マインドの冷え込み、原油価格の高騰や円高進行といった景気下振れリスクも多く、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、情報サービス市場では、全体としては企業の設備・ソフトウェアへの投資が減少傾向にあるものの、BCP（緊急時事業継続計画）の観点から、IT資産を自社で保有せずネットワークを介してITサービスを利用可能とするクラウド・コンピューティングやオペレーションの分散化を目的としたアウトソーシングの活用、海外でのIT投資促進の動きが活発化するなど、ITサービス需要が徐々に回復してきております。デジタルマーケティング市場では、震災により広告活動自粛の影響は一部あったものの、好調なリスティング広告に加え、マーケティング活動にソーシャルメディアを活用する企業が増加しており、引き続き市場は拡大傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、新たな成長の土台を固めることを本年度のスローガンに掲げ、変化する企業ニーズを見据えた付加価値の高いITサービスの強化に努めてまいりました。

国内では、既存事業の生産性、収益性の改善に引き続き取り組むとともに、注目度の高いFacebookやTwitterなどのソーシャルメディアの運用面をサポートする、「ソーシャルメディア運用サポートサービス」に加え、米国Wildfire Interactive Inc.と提携し、ソーシャルメディアマーケティングプラットフォーム「Wildfire」の日本国内でのサービス提供を開始するなど、ソーシャルメディアにおけるマーケティングプロモーション、データ収集/分析、運用などトータルでサポートできる体制を強化いたしました。海外では、SaaS型テキストマイニングツール「見える化エンジン」の中国語版の販売を開始し、グローバルでVOC（Voice of Customer＝顧客の声）を収集・分析・共有していくことができるサービス体制を強化いたしました。

以上の取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高38,184百万円となり前年同期比2.9%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加および売上総利益率の改善などにより、営業利益は1,871百万円となり前年同期比70.7%の増益、経常利益は1,907百万円となり前年同期比51.3%の増益、四半期純利益は1,345百万円となり前年同期比77.3%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、ITサービスの需要拡大やコスト適正化による収益性の改善の影響もあり、売上高は31,229百万円と前年同期比4.5%の増収となり、セグメント利益は1,698百万円と前年同期比176.0%の増益となりました。

(B t o B国内子会社)

B t o B国内子会社につきましては、前期に実施したグループ再編の影響により、売上高は5,241百万円と前年同期比6.4%の減収となりました。また、コールセンターサービス子会社における、センター拡張費用の増加などにより、セグメント利益は75百万円と前年同期比26.0%の減益となりました。

(B t o B海外子会社)

B t o B海外子会社につきましては、中国におけるコールセンターサービスの受注が比較的好調に推移し、売上高は3,471百万円と前年同期比5.7%の増収となりました。また、オフショア開発の利益改善などにより、セグメント利益については、23百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）となりました。

(B to C子会社)

B to C子会社につきましては、製品のリリース時期の影響などにより、売上高は769百万円と前年同期比13.1%の減収となり、セグメント利益は22百万円と前年同期比90.3%の減益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,494百万円増加し、92,628百万円となりました。このうち流動資産につきましては、3,485百万円増加し、64,588百万円となりました。これは財務体質の改善などにより、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産につきましては、990百万円減少し、28,040百万円となりました。これは当社における欠損金に係る繰延税金資産が減少したことによるものであります。

また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて2,198百万円増加し、47,921百万円となりました。これは主に、賞与引当金の当期分積み増しによる増加などによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて296百万円増加し、44,707百万円となり、自己資本比率は、44.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災に伴う電力供給不足に加え、急激な円高進行などにより、今後の企業活動の動向に与える影響の見極めが困難な状況となっております。この先行き不透明な状況により、現時点では、当社の連結業績に与える影響を合理的に算定できないため、当期の連結業績見通しについては、未定としております。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,797	35,029
受取手形及び売掛金	23,406	22,889
有価証券	27	12
商品及び製品	41	38
仕掛品	552	594
貯蔵品	52	30
繰延税金資産	3,769	4,296
その他	1,894	2,166
貸倒引当金	△438	△468
流動資産合計	61,102	64,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,685	3,692
工具、器具及び備品(純額)	2,495	2,530
土地	1,145	1,150
その他(純額)	335	378
有形固定資産合計	7,661	7,751
無形固定資産		
のれん	297	234
ソフトウェア	1,266	1,256
その他	326	303
無形固定資産合計	1,891	1,793
投資その他の資産		
投資有価証券	3,919	3,927
関係会社株式	3,358	3,476
その他の関係会社有価証券	75	71
関係会社出資金	368	373
繰延税金資産	2,707	1,755
差入保証金	4,584	4,542
その他	4,784	4,661
貸倒引当金	△318	△312
投資その他の資産合計	19,479	18,495
固定資産合計	29,031	28,040
資産合計	90,134	92,628

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,118	3,844
短期借入金	846	664
1年内償還予定の社債	1,070	1,070
1年内返済予定の長期借入金	12,152	8,383
未払金	2,435	2,637
未払費用	5,077	5,506
未払法人税等	592	207
未払消費税等	1,337	1,495
賞与引当金	3,107	4,183
その他	1,367	1,637
流動負債合計	32,105	29,630
固定負債		
社債	1,660	1,660
長期借入金	8,525	13,266
退職給付引当金	127	131
訴訟損失引当金	2,555	2,555
その他	749	677
固定負債合計	13,618	18,290
負債合計	45,723	47,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	10,289	10,277
自己株式	△15,922	△15,922
株主資本合計	43,943	43,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△149	△150
為替換算調整勘定	△2,752	△2,475
その他の包括利益累計額合計	△2,902	△2,626
少数株主持分	3,369	3,403
純資産合計	44,410	44,707
負債純資産合計	90,134	92,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	37,108	38,184
売上原価	30,602	31,185
売上総利益	6,506	6,998
販売費及び一般管理費	5,410	5,127
営業利益	1,095	1,871
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	1	22
持分法による投資利益	24	77
デリバティブ評価益	67	77
助成金収入	188	74
その他	55	36
営業外収益合計	352	302
営業外費用		
支払利息	145	118
為替差損	32	132
その他	10	15
営業外費用合計	188	265
経常利益	1,260	1,907
特別利益		
関係会社株式売却益	5	—
貸倒引当金戻入額	23	—
企業立地助成金等	13	35
その他	35	16
特別利益合計	76	51
特別損失		
固定資産売却損	5	0
減損損失	81	20
投資有価証券評価損	0	39
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53	—
その他	64	40
特別損失合計	206	101
税金等調整前四半期純利益	1,130	1,858
法人税、住民税及び事業税	103	76
法人税等調整額	111	430
法人税等合計	214	506
少数株主損益調整前四半期純利益	915	1,351
少数株主利益	157	5
四半期純利益	758	1,345

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	915	1,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102	1
為替換算調整勘定	170	246
持分法適用会社に対する持分相当額	53	76
その他の包括利益合計	121	325
四半期包括利益	1,037	1,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	837	1,621
少数株主に係る四半期包括利益	199	55

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,840	3,179	3,204	884	37,108	—	37,108
セグメント間の内部 売上高または振替高	35	2,422	80	0	2,539	△2,539	—
計	29,876	5,601	3,285	884	39,648	△2,539	37,108
セグメント利益 または損失(△)	615	102	△17	233	933	162	1,095

(注) 1 セグメント利益または損失(△)の調整額162百万円は、セグメント間取引消去150百万円、のれんの償却額11百万円であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,168	2,901	3,345	768	38,184	—	38,184
セグメント間の内部 売上高または振替高	61	2,339	126	0	2,527	△2,527	—
計	31,229	5,241	3,471	769	40,711	△2,527	38,184
セグメント利益	1,698	75	23	22	1,820	51	1,871

(注) 1 セグメント利益の調整額51百万円は、セグメント間取引消去20百万円、のれんの償却額30百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。